



6月 町屋幼稚園だより

令和 7 年 5 月 30 日

荒川区立町屋幼稚園

園長 関川 浩

「ひと」を成長させるもの

園長 関川 浩

春から夏へと季節は移り変わっていきます。その変わり目を感じにくくなってきたようにも思える昨今ですが、園の草花がそっと教えてくれます。

日ごろから保護者の皆様には本園の教育活動に深いご理解とご協力をいただき感謝を申し上げます。先日の親子遠足も子どもたち、そして保護者の皆様とともに、楽しいひとときを過ごすことができました。親子での体操、しっぽとり、オリエンテーリングなど、広い飛鳥山公園の自然のなかで楽しみました。

うさぎ組の子どもたちの様子をみていたら、友達とのかかわりで、成長を感じることがたくさんありました。「他者」がいるからこそ成長できる、また「他者」がいないと成長できない、そのようなことを考えました。そこに幼稚園の存在意義もあるのかとも思いました。

これから「ひと」と「ひと」、「環境」とのつながりを大切にしながら、教育活動を進めていきます。ご支援のほどよろしくお願い致します。

《今月のねらい》

- 【年 中】 ○ 友達と触れ合い、一緒に遊ぶことを楽しむ。
○ 水や泥の感触を楽しんだり、梅雨時の自然に触れたりする。



自分たちで育てた野菜！

自然がいっぱいの町屋幼稚園。子どもたちが好奇心や探求心をもって見たり触れたりして、心を動かすことができるような環境を工夫しています。この季節ならではの初夏の自然に思い切り触れて楽しんでいきます。

昨年度の秋に畑に植えたタマネギが大きく生長しました。みんなで収穫し、タマネギが主役のハヤシライスにして食べました。自分たちで育てたものを食べる経験は貴重な経験になったようです。地域のお花屋さんに夏に育つ花や野菜の苗を買いに行き、育て方を教えてもらいました。種まき、苗植えをし、毎日生長の様子を発見しながら、大切に世話をしています。幼児期に実際に身体いっぱいに様々な環境に触れて、いろいろな感情を味わう経験を積み重ねられるようにし、子どもたちの豊かな感性を育んでいきたいと思っています。

土作りをし、夏野菜の苗を植えました。

小さな苗だったタマネギが大きく生長しました。



町屋幼稚園の X(旧 Twitter)で園児の遊びや生活の様子をお伝えしています。

